

当院にてX線透視検査を施行された方へ

当院では日常診療において多目的にX線透視検査を施行しています。日々の被ばく線量低減に向け、各種検査において被ばく線量低減技術を有効的に活用しています。

【対象となる方】

2016年5月23日～2016年12月31日の間に本院放射線部168消化管室にてX線透視を伴う検査を施行された方

【研究の意義】

新しく開発された被ばく線量低減技術をX線透視に適用することにより、従来法より少ないX線量でX線透視を行うことができるためX線透視検査における被ばく線量低減効果が期待されます。

【研究の目的】

過去の患者さんのX線透視検査のデータを用いて、新手法による被ばく線量低減効果を検証します。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている性別、年齢、身長、体重、BMIと透視検査におけるX線透視時間とX線透視被ばく線量を収集して行う研究です。X線透視装置は、X線透視時間と放射線被ばく線量（計算によって求めた積算透視線量）を表示する機能を有しています。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は、下記の連絡先に平成29年2月28日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記の連絡先までご連絡ください。

平成28年12月

【研究機関名】

研究責任者：東京大学医学部附属病院 放射線部 境 紀行

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院 放射線部 境 紀行

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35118）FAX：03-5800-9038

Eメールでのお問い合わせ：SAKAIN-RAD@h.u-tokyo.ac.jp